



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「信念のあるミッション（使命・目標）」 “Mission with Faith”
アジア地域会長主題	「愛をもって奉仕をしよう」 “Through Love, Serve”
西日本区理事主題	「あなたならできる！きっとできる！」 “You can do it! Yes, you can!”
中部部長主題	「踏み出そう 次の一歩のための今の一歩を」
金沢クラブ会長主題	「新しい一歩を踏み出せば、二歩目は自然についてくる」

2016 6 月間強調 評価・計画

<p>今月の聖句(担当 澁谷洋太郎君)</p> <p>金銭に執着しない生活をし、今持っているもので満足しなさい。神御自身、「わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにはしない」と言われました。</p> <p>ヘブライ人への手紙 13 章 5 節</p>	<p>6 月強調月間</p> <p>目標に向かって突き進みましたでしょうか。できなかったことは次年度に頑張りましょう。できたことは褒めましょう。</p> <p>遠藤通寛理事（大阪泉北クラブ）</p>
<p>6 月例会 プログラム</p> <p>と き 2016 年 6 月 16 日 (Thu.) 18:30~20:30 と ころ 金沢ニューグランドホテル 会 費 ¥3,000(会員不要) ¥2,000(メネット)</p> <p>司 会 伊藤仁信君 清水淳会長 主 題 司 会 者 ワイズソング 一 同 ハッピーバースデー 清水淳会長 食前の感謝 数澤輝夫君 スピーチ 清水淳会長 “2015-2016 年度を振り返って”</p> <p>委員会報告 各 委 員 ニコニコタイム 朝倉みゆきさん Y M C A の 歌 一 同 閉 会 ・ 点 鐘 清 水 淳 会 長</p>	<p>5 月 クラブ活動状況</p> <p>第 1 例会 (5 月 19 日 Thu.) メ ン : 朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水 西、藤井、山内 (9 名) メキヤップ : 山本 (1 名) 出席率 : 100 % メネット : 伊藤、数澤、澁谷 (4 名) ゲスト : 吉橋廣修氏 (1 名)</p> <p>第 2 例会 (5 月 1 日 Sun.) メ ン : 伊藤、数澤、澁谷、清水、西、山内 (6 名) メネット : 数澤 (1 名)</p> <p>ニコニコタイム 12,000 円 クラブファンド 累計 126,000 円</p> <p>B F ポイント 切手 0 g 累計 210 g 現金 0 円 累計 15,900 円</p>
<p>会 長 清 水 淳 書 記 山内ミハル 副 会 長 澁谷洋太郎 会 計 伊藤仁信 直前会長 幸正 一誠 ネット会長 数澤淑子</p>	<p>第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311 第二例会 : 毎月 1 日 18:30~20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)</p>

2015-2016 年度を振り返って

清水 淳

「一歩進んでさらに進む」ことを目標とした1年間でしたが、結果として後退はしなかったものの足踏みの1年間でした。

ドロップアウトはなく会員数は維持したものの、ビジターからメンバーとなる会員を見つけることはできませんでした。「新しいこと」を探し求めたものの実現には至りませんでした。しかしながら例会の出席率は高く、区大会・部会への参加者も多く、DBC である滋賀蒲生野クラブ・仙台広瀬川クラブとの合同例会も開催し、地に足の着いたクラブ活動ができた1年間だったと思います。

あらためてワイズメンズクラブの目的を記載します。

1. まず第一に YMCA のためのサービスクラブとして活動する。
2. その他ワイズメンにふさわしい団体を支援する。
3. 市民的、国際的諸問題のただ中で、倦むことなく、一党一派に偏しない正義を追究する。
4. 宗教的、市民的、経済的、社会的諸問題につき、会員たちを啓発しこれに参加連帯させる。
5. 健全的な国際、地域、区の事業を支援する。

これらの中で、現在できていることもあればできていないこともあります。

先日の金沢 YMCA 会員総会で YMCA の今後の活動について方法・施策が示されました。70 周年を迎える YMCA を支え、その活動を育てていくことこそが一番の使命であり役割であると思っています。

会員の皆さんに支えられて2年間の会長の任期を終えることができました。

個人的には数々の会合に参加し、多くの人達と出会い、ワイズの活動についていろいろと知ることができました。1年後に控える70周年のためにもこの経験を今後の活動に活かしていきたいと思っています。

【5月例会報告】

5月例会には、有名な和菓子職人吉橋廣修氏にスピーカーをお願いしました。

吉橋氏は、吉橋菓子店の2代目店主です。しかし、店はない。作り置きし、店頭で並べて客を待つというのではなく、注文を受けてから作り、作りたてを配達するという、知る人ぞ知る菓子職人なのです。

氏は、今までの歩みを振り返りながら、菓子職人としての半生を語ってくれました。



淡々と人生を語る……（右から3人目が吉橋氏）

11年前、体をこわしたとき、菓子職人をやめようと思った。当時長男は大学3年生、次男は19歳だった。息子たちにその気持ちを伝えると、次男は相談もなく「会社を辞めてきた」といい、名古屋の両口屋等紹介してもらって、修業を始めた。長男は3か月目にきちんと菓子屋をすると返事をしてきた。東京の専門学校で、売れない菓子の作り方も教えてもらったという。とても大変な仕事なので、わたしはやる気はなかった。

私の父は母子家庭で育ったので、小学校を卒業して「森八」に入った。当時世の中は不況で、菓子の注文などなく、自転車操業であったので、父は「森八」に見切りをつけ、独立。戦時中赤紙で召集された父は、軍隊で、大学出の兵隊はどんどん位が上がり、尉官などになれるのを見、息子を大学に入れようと思ったという。父に背中を押され、大学でスペイン語を選んだ。英語は力の差が大きかったが、スペイン語はほとんどの学生が初歩から学ぶから、力の差はほとんどないと思ったからだ。大学卒業後、中南米への出張がある商社に入ったが、それはなくなったということで、パソコンのプログラムを作らされた。その仕事は私には向かず、床屋へ行ったら「禿ができています」と言われた。



講師 吉橋氏を囲んで

環境を考え、友人にも相談し、金沢へ帰ることにして、夜行に乗り、早朝金沢に着いた。私の突然の帰郷を父はニコニコ迎えてくれたが、母は大反対であった。父に押されて大学にいき、友人に押されて金沢に帰り、菓子屋がやりたいわけではなかったが、父を師とすることにして家にとどまった。すすめられて結婚もした。

「森八」さんから出た職人は、森八の下請けの仕事をしていて、父も私もそれはいやで、うち独自の菓子を作ってきた。師である父が亡くなって、お茶屋などに配達したら、必ず感想を聞いて菓子作りに活かし、信用をつけていった。「高野聖」「藤娘」「伊勢物語」などその時の御茶席のテーマに合うお菓子を作してほしいとの注文を受け、いろいろ工夫した。「万事休す！」という状態になったときも何度かあったが、それを乗り越えてきた。木工職人、陶芸家、料理人、人間国宝……こういう人たちとの交流の中で学ぶものは多い。長男と取っ組み合いの喧嘩をしたこと、大事な客の注文の日を間違え、翌朝店の前で店の戸が開くのを待つて心から詫び、貰うわけにはいかないと固く辞した代金を「忘れものだよ」と支払ってもらったことなど感動的なエピソードもあり、仕事があるということは、いいことだと思っている。

(文責 山内ミハル)

仙台広瀬川クラブとの交流会（訪問記）

澁谷洋太郎

5月21日～22日の2日間、仙台広瀬川クラブへ2回目の訪問を行った。参加者は、清水淳会長、伊藤仁信、数澤輝夫、澁谷洋太郎、西信之、山内ミハルの6名。広瀬川クラブでは、2日間の予定を上手に組んでくださいました。

◀一日目▶

朝7時小松空港に集合して、8時に仙台に向かって飛び立ちました。飛行時間約1時間。



仙台空港には、菅野・伊勢・阿部ワイズが出迎えてくださり、清水会長も合流。2台の車に分乗して、大川小学校跡・雄勝津波碑を主たる訪問先として出発しました。

訪問先1 大川小学校跡（石巻市釜谷）

大川小学校は前回の訪問でも尋ねましたが、今回はその被害の惨状を保存すべきか、どうか検討中とのことで私たちも目に焼き付けておこうとの訪問でした。



屋根の上まで来た津波に塗り廊下の屋根も落ちて…



壊れた校舎の横に慰霊塔が設置され、
たくさんのお花がそえられていた

注 石巻市釜谷地区の北上川河口から、約4kmの川沿いに位置する大川小学校は3月11日の大津波で、全校児童108人の7割に当たる74人が死亡・行方不明となった。

訪問先2 津波の石碑（石巻市雄勝町名振）

津波の石碑として、今年2月に建立された名振へ案内された。この碑は東日本区の各クラブ、仙台の各クラブ、そして東京西・京都ウエスト・神戸西・大阪西・熊本西クラブが協力して建立されたものです。



注 石碑上部が斜めにかたどられ、その「坂道」を女の子の像が駆け上がる。大きく「未来へつなぐ命」の文字。宮城県石巻市雄勝町（雄勝町）名振（名振）地区の高台に住民たちが今年2月に設置した「津波の石碑」には、未来の命を守りたいとの願いが込められている。



石碑は、住民が防災集団移転で移り住んだ海拔18mの新たな団地のそばの公園に建つ。「地震があったら津波がきつと来る 直ちに逃げることに、高台へ。そ



して、1時間はその場を離れないように」。碑文を考案したのは地元出身の永沼淳子さん（49歳）だ。母睦子さん（当時67歳）は地区外の病院で津波の犠牲になった。「母を思い、津波の恐ろしさを思い出しながら考えた。親から子や孫へと語り継いでもらえたら」と願う。半島部に位置する名振地区は、高さ13m津波に襲われ、住宅の8割に及ぶ約60軒が全壊・流失し、住民の生活を支えていた漁業施設や資材もほとんどが流された。地震後、住民の多くは高台に避難したが津波の到来前に自宅へもどってしまった2人と地区外で被災した7人が亡くなった。高橋守次地区会長（69歳）は「記憶は薄れても石碑は残る。見るたびに津波を思い出し、私たちが死んだ後も伝承してほしい」と力を込める。

続いて、伊達正宗公が建造した慶長遣欧使節船「サン・ファン・パウティスタ号」の復元船が、石巻市渡瀬漁港に開館したテーマパーク「サン・ファン館」に係留・展示されているのを見学した。ちょうどサン・ファン祭りの初日で、屋台が立ち並び準備中でした。



傷みがひどく、維持費もかかるので、間もなく取り壊しとなり、再度復元はないだろうとのこと。



少し童心に帰って…

交流会 うまいもの市場 YAMATO

交流会は金沢クラブ6名 広瀬川クラブ10名計16名で開かれた。

広瀬川：佐藤善人会長、加藤研副会長、及川浩美次期会長、門脇秀知、阿部松男、本野日出子、伊勢文夫、松本京子、高篠伸子、菅野健メン

仙台のお肉料理とアルコールを堪能しながら、和気あいあいと話し合いを持つことができました。



二次会は近くのカラオケで…

次の機会は金沢クラブの担当になるので期待したいと思います。

《二日目》は次号をお楽しみに。

× ネット 報

過密地帯 (我が家の坪庭)

現在、日本の人口分布は過密と過疎の両極端に分かれているため色々な問題を提起しております。人口だけでなく気候や動植物の分布も昔と比較すると大きく変化しております。今後、自然現象や人為的な現象も含めて私たちの地球を取り巻く環境がどのように変わるかかわからない状態です。

全く話が変わりますが、我が家の中で目を足元に落とし、私の身の回りのごくささやかな範囲で、しかも

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆西日本区大会

日時：6月25日(土)18:00~26日(日)12:00

場所：大阪 松下IMPホール(大会)

ホテルニューオータニ大阪(懇親会)

参加予定：伊藤、数澤、メット、幸正、澁谷、清水、西、山内 以上8名

~~~~~ YMCAからのお知らせ ~~~~~

☆YMCA 創立70周年記念式典

日時：7月30日(土)14:00~18:30

場所：金沢都ホテル

記念講演講師：山田公平氏(前アジア・太平洋YMCA 同盟総主事、元日本YMCA 同盟総主事)

演題：「日本とアジアの青少年活動の夢」

祝会：参加費 一般 10,000円 学生 3,000円

Happy Birthday

伊藤 仁信君 6月3日

藤井三和子さん 6月23日

7月の担当

聖句担当：藤井 辰男君

ブリテン執筆：西 信之君

数澤 淑子さん

卓話担当：西 信之君

複雑で過密化しどうしたらよいか判らなくなっている所をご紹介いたします。ググ・・・ッと小さくなりますが、我が家の坪庭と称するところです。坪庭と言いますと高級料亭とかホテルなどにある上品でしかも高価な草木が数本あるだけで何とも言えない風情を醸し出しておりますが、我が家の坪庭はその真逆を想像してください。しかも測定不可能の場所もあるので、あくまでも推定の延べ面積で坪庭と名付けております。主人は、つまずきながら「運動不足には良いところだ」

などと言いながら歩いている状態です。

そこで、ある日わが坪庭の過密状態を整理しようと国勢調査を実行することにしました。まず、何がどれだけあるのかメモに種類を記録しましたが、本数まで数えると大変なので①鉢植えと②の地植えの二つに分類してみました。



- ① サクラソウ、ヒメリュウキンカ、ムスカリ、アツクサ、クリスマスローズ、ボタン、シャクヤク、ミニアジサイ、バイカウツギ、ナンテン、ゼラニウム、モミジ、ハナカイドウ、ジンチョウゲ、コトメドリ、ツバキ、オウバイカツラ、マツ、サツキ、ツツジ、フウセンカツラ、ムラサキシキブ、タカラノサクラソウ、ヒメリュウキンカ、ムスカリ、アツクサ、クリスマスローズ、ボタン、シャクヤク、キ、シンビジューム、イチョウ、ケヤキ、オチャノキ、ハクチョウソウ、コチョウニ、オダマキ、キンギョソウ、テッセン、シラン、ツタ類、ヒバ
- ② ひば、山茶花、楓、柘植、松、槇、南天、槿、びだんし（通称で正式名？垣根等に使われております）、八つ手、つつじ、さつき、ぽーぽ（10年目で初結実）、いちじく、おだまき

以上①の35種と②の15種合計約50種類でしたが、同種が①と②の両方にあるのと国籍不明なのがあります。また1種で何本もあるので本数は数えきれません。



最低この倍以上はあると思います。無計画に空いているところに植えたので雑踏の中を泳いで歩く状態です。そのようになった主な要因は、よく挿し木をしたがります。根付いて新芽が出るのが何とも可愛いしある種の満足感が得られます。それと、よそ様から頂いたり店で気に入ったのを植える所も考えずに買ったりした結果だと思っております。主人はさらに私より無計画で大きくなる花木を買ってくるので大変でした。夫婦でこのように無計画な自己満足で作られた庭でそれなりに愛着がありますが、2人とも体が不自由になってきたのと消毒、剪定、草取り等々も大変なので今年から大幅に削減しようかと考えております。

我が家の国勢調査から以上のような結論に達しましたが、まだまだ草木に対し夫婦共々未練が残っているので計画通り出来るかどうかこの原稿を書いているうちにだんだん心もとなくなってきました。しかし、無事我が家の坪庭が計画通りできることを願って来年を楽しみにしております。

(伊藤 悦子 記)

次期2016～2017のプリテン ネット欄の執筆担当を次のように決めました。メネット会長の独断と偏見(?)で決めましたので、ご都合が悪い方は申し出てください。

(メネット会長 数澤 淑子)

2016年7月号	数澤 淑子	8月号	澁谷 節子	
	9月号	山本 典子	10月号	伊藤 悦子
	11月号	山内ミハル	12月号	朝倉みゆき
2017年1月号	数澤 淑子	2月号	澁谷 節子	
	3月号	山本 典子	4月号	伊藤 悦子
	5月号	数澤 淑子	6月号	山本 典子

(敬称略)